

## 平成30年度 第1回北秋田市総合教育会議 会議録

1. 開催期日 平成30年5月31日(木)
2. 開催場所 北秋田市民ふれあいプラザ コムコム 大研修室
3. 開会及び閉会 開会：午後1時00分 閉会：午後2時35分
4. 出席者 北秋田市長 津谷 永光  
＜北秋田市教育委員会＞  
教育長 佐藤 昭洋  
委員 永井 高道  
委員 佐藤 正俊  
委員 小林 真  
委員 藤本 基子
5. 欠席委員 なし
6. 出席職員 ＜教育委員会事務局＞  
教育次長 小笠原 吉明  
総務課長 金澤 聡志  
学校教育課長 小林 秀雄  
生涯学習課長 長岐 孝生  
スポーツ振興課長 藤野 義則  
総務課総務係長(書記) 三澤 照美
7. 案件 (1) 北秋田市教育大綱(スポーツ振興編)について  
(2) 平成30年度主な教育施策について  
(3) 意見交換

## 8. 会議録

小笠原教育次長	<p>ただいまから、平成30年度第1回北秋田市総合教育会議を開催いたします。</p> <p>はじめに、津谷市長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
津谷市長	<p>皆様お疲れ様でございます。</p> <p>今年度の第1回北秋田市総合教育会議にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。</p> <p>まずもって教育委員の皆様には、北秋田市の教育行政のみならず、市政全般にわたりまして大変温かいご支援とご協力、ご理解を賜っておりますことに心から感謝を申し上げます。</p> <p>昨日のチャレンジデーでありますけれども、対戦相手の神奈川県寒川町に、残念ながら北秋田市の参加率が63%、寒川町が70%を超える参加率で、対戦では負けましたけれども、63%を超えました。昨年よりも3%近く参加率が向上いたしました。市民の方々を含めて皆様方の温かいご協力をいただいた結果であります。来年は更に頑張っていきたいと思っております。本当に皆様ご協力ありがとうございました。</p> <p>さて、平成27年度から施行された新教育委員会制度も4年目を迎えます。今回は藤本教育委員を新しくお迎えし、初めての総合教育会議となります。どうかよろしくをお願いいたします。</p> <p>昨年度の第2回総合教育会議では、教育大綱に基づく主要な施策実施状況・成果と、30年度の実施重点施策等につきまして、委員の皆様方からは活発なご意見をいただき心から感謝申し上げます。</p> <p>今年度の主な事業といたしましては、平成32年4月の鷹巣中学校と鷹巣南中学校の統合に向けて、鷹巣中学校の校舎改修業務に着手しておりますし、新たに導入いたしました校務支援システムにつきましても、その成果が期待されるところであります。</p> <p>また、国立市との交流につきましては、10月に予定しています友好都市連携協定、まだ仮称でありますけれども、締結に向けて準備を進めているところですが、国立市教育委員の当市視察と、こちらからは教員の国立市訪問の予定もあり、今後も両市の友好関係を更に深めながら、教育行政の発展に繋げて行きたいと考えております。</p> <p>本日の会議は、今年度の主要な教育施策と、スポーツ大綱が議題の中心となりますけれども、教育委員の皆様から貴重なご意見、ご助言を賜りますよう心からお願い申し上げまして、大変粗辞ではありますが、開会のご挨拶とさせていただきます。どうかよろしくをお願いいたします。</p>

小笠原教育次長	<p>ありがとうございました。        続きまして、佐藤教育長よりご挨拶をお願いします。</p>
佐藤教育長	<p>教育長に就任してからちょうど1年を過ぎたところでございます。この総合教育会議は、基本的に市民の方々に公開して教育行政を知っていただくところも一つのねらいでございますので、私の概要をお話しさせていただいて挨拶に代えたいと思います。</p> <p>この1年間、学校教育、社会教育、文化、スポーツ振興と本市の生涯教育全般を幅広く見てきました。その中で、それぞれの行事やスポーツ関係の大会などに参加して、1歳児から高齢者まで世代を越えて幅広い方々と交流することができました。その中で感じたことは、交流した皆さんが北秋田市をこよなく愛しており、この地域を盛り上げていきたいと考え、それぞれに応じた学びを構築しているということでございます。どこへ行っても、どの会へ参加しても笑顔があり、人と人を繋ぐためにコミュニケーションを図ろうとする姿勢が見られました。</p> <p>子どもの誕生を記念して行われた記念植樹、就学前の児童や保護者を対象に行った絵本ライブなどに参加して、本市の宝である子どもたちを家族や地域でとても大切にしている思いを感じました。</p> <p>小・中学校の児童生徒数は5月1日現在で1,825名。これは昨年度よりも15名の減少ですが、減少数は最近になく少ない数となっております。保護者や家族のみならず、地域の方々もたくさん来場する小・中学校の運動会や体育大会、学習発表会や文化祭、日頃から地域と学校が協働で活動を行っている本市ならではの光景だと思います。地域に守り育てられている学校ではありますが、その光景は、教員の普段の努力があつての成果だと感じています。教員が子ども達の将来を考え、一人一人に丁寧な指導をし、前向きに教育に取り組んでいることから、子ども達の安定した状況が生まれているのだと強く感じています。平成29年度の新体力テストの体力合計点では、男女別に小学校の全ての学年で国や県の平均を上回り、中学校でも全ての学年で国の平均を上回り、2つの学年で県の平均をも上回っております。また、平成29年度の全国学力・学習検査の結果が良好なことは、昨年度の第2回総合教育会議でも報告しましたが、その後12月に行われた県の学習状況調査でも全教科の平均が、小学校4年生から中学校2年生までの5学年中4学年が県の平均を上回る良好な結果となっております。教育留学で本市を訪れている県外の子供達やその保護者からも高く評価され、留学生が年々増えており、今年の運動会の会場には、教育留学生の保護者や祖父母が一緒になって応援したり、昼食をとるという場面もございました。</p> <p>昨日、秋田北鷹高校の授業参観に行つて来ました。林業実習や河川での測量実習など旧鷹巣農林高校からの特色ある授業が行われていましたが、教室の授業でも生徒同士がグループやペアで話し合い、発表するなど、これまでの高校</p>

佐藤教育長	<p>でよく見られた教師主導の授業形態が、少しずつではありますが変化してきているのを感じました。学校教育課のショーも参観に行ったのですが、英語の授業では彼が引き込まれて、生徒との英会話の中ですてきな笑い声が響くという時間もあり、楽しみながら真剣に学ぶ高校生の姿から将来を頼もしく感じました。青山校長には、高校生も巻き込んだ地域活性化について、生涯学習課との連携をお願いしてきたところです。県教委が主催し、生涯学習課が共催して実施している「秋田わくわく未来ゼミ」には、平成29年度に延べ365人の高校生が参加しました。5月から3月まで90回の教室や講座を開催し、英語や小論文を中心とした個別の自学支援を、元塾講師であった学習支援員が進めるもので、今年度もすでに実施しております。その外に、日常的にもコココムコムや内陸線では、高校生の学習する姿も見られるようになりました。今後は、地域の活性化にも積極的に関わられるよう、働きかけて参ります。</p> <p>公民館活動を中心とした生涯学習活動や、地域に伝わる有形・無形の文化財や民俗文化財の継承及び保護活動など、積極的な学習が展開されており、本市における市民の生涯学習への意識の高さと、それぞれの団体等による質の高い取組を感じております。北海道・北東北縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた取組、阿仁マタギの日本遺産登録に向けた取組につきましても、市民の皆様と一丸となってアピールして参りたいと、決意を新たにしているところです。</p> <p>スポ少・中高の部活動、一般の個人やチームでの競技スポーツへの取組は、オリンピックに出場した立崎英由子選手を初め、世界レベルや全国大会等で活躍した個人、団体が多数ありました。生涯スポーツは、野球・テニス・水泳・卓球・バドミントンなど、競技スポーツから続けて取り組んでいるものの外、グラウンドゴルフやパークゴルフ、ユニカール、ゲートボールなど、多種多様な競技が展開されております。スポーツに取り組むことで、コミュニケーションを図り、生きがい作り、健康作りに大いに貢献しているものと捉えております。先程、市長のお話にもありましたが、昨日のチャレンジデーでは、本市の参加率が約63%と、少子高齢化が年々進む中で昨年より3%も上昇し、大いに健闘したと思います。私も朝5時半に木戸石自治会の体育協会が主催したラジオ体操に参加しましたが、小学生から高齢者まで約50名が集まり、ラジオ体操の後、集落の回りをウォーキングし、参加者との会話を楽しむことで、日頃からの健康作りの大切さを感じたところです。当に、今回の市のテーマであった「健幸」健やかな身体とそこに生まれる幸せな生活を目指すべきと感じました。</p> <p>教育委員会の業務は、誕生した子どもから高齢者までと、幅広い年齢層の学びを提供するものでありますが、この後、各課の取組みについて案件の中で具体的に報告いたします。以上でございます。</p>
小笠原教育次長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、早速ではございますけれども案件に入らせていただきます。</p>

小笠原教育次長	<p>「北秋田市総合教育会議要綱」により議長は市長が行うこととなっておりますので、津谷市長に案件の進行をお願いしたいと思います。</p> <p>津谷市長よろしくお願いたします。</p>
津谷市長	<p>それでは、暫時の間、議長を務めさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。</p> <p>早速案件に入らせていただきます。案件（１）北秋田市教育大綱（スポーツ振興編）につきまして、スポーツ振興課長から説明をお願いします。</p>
藤野スポーツ振興課長	<p>皆様に配布しております資料２ページ北秋田市教育大綱スポーツ振興編は、市の新たなまちづくり実現のための第２次総合計画前期基本計画に合わせ、一般の教育委員会で承認いただきました北秋田市スポーツ推進計画の策定と整合性を図るため、基本目標を「スポーツを通じて市民が健康で活力のある元気な北秋田」とし、計画策定に当たっての趣旨・位置づけ・計画期間とともに、本市におけるスポーツの現状と課題を明確化し、従来の４つの目標でありました生涯にわたるスポーツ、青少年のスポーツ、地域スポーツ、競技スポーツを見直し、スポーツの充実、生涯スポーツの推進、スポーツを通じた地域活性化、競技スポーツの向上の個別目標に対して、その内訳と目標数値を掲げることとしたものでございます。</p> <p>以上、ご審議のほどよろしくお願いたします。</p>
津谷市長	<p>ただ今、説明のございました内容について、ご意見、ご質問をいただきたいと思いますが何かございませんか。</p>
佐藤委員	<p>次第の（３）に意見交換とありますが、ひとつひとつの項目で進めていきますか？</p>
津谷市長	<p>今はスポーツ振興課の教育大綱について、委員の方々からご意見、ご質問をお尋ねしておりましたけれども、（３）で意見交換の時にも時間がございますので、お気づきの点等があればその時に質問もしていただくことで進めさせていただきますのでよろしいでしょうか。</p>
小笠原教育次長	<p>案件の（１）、（２）それぞれございますけれども、それぞれのところでご意見、質問等を聞きながら、その他に（３）で意見交換という形にさせていただければと思っております。</p>
佐藤委員	<p>わかりました。</p>
津谷市長	<p>今の件は終わらせてもらいまして、案件の（２）に入らせていただきます。</p>

津谷市長	平成30年度主な教育施策について、各課から説明をお願いします。 はじめに学校教育関係について、総務課と学校教育課からお願いします。
金澤総務課長	<p>それでは総務課からご説明いたします。</p> <p>1. 学校施設修繕事業でございます。合川中学校体育館床張替工事は、平成19年の水害により床の合板が剥がれて危険な状態であるため、学校祭の終わった頃を見計らって張替工事に入りたいと考えています。鷹巣小学校衛生設備改修工事は、トイレの洋式化、ブースの補修で、取り替える便器の数は12個を予定しています。阿仁合小学校衛生設備改修工事は、教室棟のトイレを4個洋式化する工事です。鷹巣小学校プール補修工事は、プールサイドのモルタルが割れて怪我の恐れがあるため補修するものです。綴子小学校と鷹巣南小学校のプールろ材交換工事は、既に発注しており工事を進めているところです。</p> <p>2. 鷹巣北部給食センター既設貯湯槽内部FRP張替工事は、経年劣化でお湯を貯める槽の内側に錆が出てきている状況ですので、内側を張り替える工事です。</p> <p>3. 設計業務委託（鷹巣中学校校舎大規模改修工事）は、平成32年4月の鷹巣中学校と鷹巣南中学校の統合に向けて、平成31年度に実施する大規模工事の設計業務を行うことで、既に発注しております。改修の主な内容としては、校舎全体の外壁、屋根の補修、教室床の研磨後の塗装、トイレの洋式化、教室等のエアコン設置等となっています。概算工事費は、現在のところ3億円を見込んでいます。</p> <p>4. あきたリフレッシュ学園と教育留学推進事業については、5月1日現在、あきたリフレッシュ学園入園生は14名、教育留学事業は学習交流型が小学生5名、生活改善型が中学生1名の合計6名が来ております。その内、6年生と4年生の姉弟が、明日6月1日で留学を終えて北海道に帰る事になっています。新たに小学校4年生の男子が、6月4日から7月20日まで留学する予定です。また、短期チャレンジ留学については、Iが8月24日から29日まで、IIが12月25日から29日までの予定です。以上です。</p>
津谷市長	次に学校教育課をお願いします。
小林学校教育課長	<p>学校教育課の主な施策について説明させていただきます。</p> <p>1. 校務支援システムの導入です。（1）平成30年度から各校において校務支援システムが導入され、5月から順次、各校において業者も交えて通知表の作成に向けた研修が始まっています。この後、教育センターの教務主任部会・研究主任部会に合わせて、児童・生徒指導要録の作成に向けた研修を進めていきます。（2）同じく養護教諭部会に合わせて保健に関する研修を行い、平成31年度から保健に関わる分野でも導入する計画です。（3）年度途中には、全教職員に対してアンケート調査を行い、システム導入の効果、現行シス</p>

小林学校教育課長	<p>テムの改善点や教育委員会としての支援の在り方について検討を進めていきます。</p> <p>2. 小・中学校の再編について（1）森吉中学校・阿仁中学校の統合、阿仁合小学校・大阿仁小学校・前田小学校の統合については、現段階では未定であります。阿仁地区の3校については今年度中に学校運営協議会の設立を検討し、校長の立てた学校経営方針の具現化に向け学校・家庭・地域が連携・協働して取り組んでいきます。その中で現在の学校規模のメリット・デメリットについても率直に意見交換し、あるべき未来像を探っていきます。（2）鷹巣中学校・鷹巣南中学校の統合については、6月中に準備委員会を発足し、平成32年度の統合に向けて様々な課題等について話し合い、解決策を探っていきます。</p> <p>3. 新学習指導要領の移行期間の対応（1）小学校は今年度から、中学校は平成31年度から「特別の教科 道徳」がスタートします。これまでは「道徳の時間」という教科ではない部分でしたが、今年から「特別な教科 道徳」としてスタートしています。これまでは、「特別な教科 道徳」における評価の在り方等について教育センター事業を通して研修を進めてきましたが、今年度は「特別の教科 道徳」の全面実施等に伴って、小学校の指導要録を変更します。（2）外国語活動については、今年度から小学校5・6年生に加えて、新たに3・4年生での取組が始まっています。ちなみに3・4年生の時数は15時間です。対象学年の学級担任に対する授業での支援、ALTとの連携に対する支援を、学校訪問等を通して行います。以上です。</p>
津谷市長	<p>ただ今の総務課、学校教育課の説明について、委員の皆様からご意見、ご質問をいただきたいと思います。</p>
藤本委員	<p>お手洗いの洋式化は、どんどん進めていることでしょうか？</p>
金澤総務課長	<p>各校段階的に洋式化を進めておりまして、鷹巣中学校は大規模改修に入りますし、今年度は鷹巣小と阿仁合小、来年度は残りの学校を随時洋式化していく予定です。</p>
藤本委員	<p>よかったです。娘が中学生なのですが、できれば学校のトイレは使いたくないと言っておりまして、先日の中学校の運動会の時に、応援に来たおばあさん達も入ろうとしたら和式だということで、子ども達も私達世代もその上の世代の方々も、和式トイレが家庭にも少なくなってきたことで、洋式が進めばありがたいなと思います。</p>
津谷市長	<p>この件に関して他に何かありませんか。</p>

小林委員	和式を残すところはないのですか。
金澤総務課長	実は残ります。鷹巣中学校に関しては全部洋式化になりますが、トイレだけ改修するところは和式も残るような形で進めさせていただきます。
藤本委員	かえって人の座った洋式に座りたくないということもありますか。
小林委員	以前にも話題になったのですが、和式の状態だと便秘の子どもが増えるということが統計的に出ている。藤本さんがおっしゃったように、家庭ではほとんど洋式化しているので定期的に排便のリズムがありますが、朝ご飯の後に学校で便意をもよおした時に、和式だとどうしてもできなくて子どもの便秘が増えている。それを洋式化することによってリズムを戻すということで良いことですが、反面、一昨年から始まった身体機能テストでしゃがめない子が増えてきている。かかどが着いたまましゃがめる子が少なくなっている。それはトイレが洋式化したせいだろうという話で、一長一短ある。
津谷市長	秋田県の総合プールを造る時に、全部洋式にしてしまうと濡れた水着で利用した後に、次に座る人が濡れてしまうので必ず1個は和式をと、スポーツマンが使うので納得がいくまで議論したことを思い出しました。
佐藤教育長	実際に県議会でも総括の時に、議員さんが両方の立場からお話しになりまして、相撲をやられている議員さんは、足首が硬くなるので和式は残して欲しいという意見を言われておりました。
佐藤委員	子ども達がキャンプなどに出かける時に、ほとんどがまだ洋式化されていないので、できない。子ども達を離れた場所まで連れて行かなければならない。全部が洋式化してしまうと、そういう子どもが出てくるのではないかな。何かあった時に出せない。例えば6個あるうちの1個は和式にしておくなどの工夫や、学校での訓練が必要なのではないか。もし災害等があった時に、そういう所ではできない状況になってしまうのかなという心配はあります。私達がキャンプに連れて行く時は、トイレまで移動して連れて行かなければならない。特に、これから短期チャレンジ留学が始まると、子ども達を連れて活動するが、予めどこにどんなトイレがあるか下見して活動しないと、子ども達も指導する方も不安な自然活動になる。この点については前から何度か話合いをしてきた感じがします。検討課題ですね。
永井委員	5月24日に行われた全県市町村教育委員会委員長・教育長会議においてもトイレに関する情報交換がありました。北秋田市からは、働き方改革の一環として校務支援システムの導入について説明をしましたら、他の市町村教委、教



永井委員	<p>育長から、本市はトイレの方を重点的に、その目途がついてからシステムの導入というような発言もあった訳ですが、その時にも和式はある程度の数は残す方向が良いのではないかと、全部洋式化するには課題もあるのではないかと話された状況もありました。</p>
津谷市長	<p>他に何かありますか。</p>
藤本委員	<p>校務支援システムというのは、通知表のことだけですか。それとも、例えば先生が子ども達に配る学級だよりなども含めたシステムですか。</p>
津谷市長	<p>小林課長から説明してください。</p>
小林課長	<p>校務支援システムについては、通知表だけではありません。例えば成績の処理、教員同士の情報の共有、メールも含めてですが、メールはインターネットを通じているので外との関わりがあるのですが、校務支援システムは内に入ったシステムで、いわゆるイントラネットになりますので、情報の漏れる可能性が極めて低いということでもあります。ですので成績処理、通知表や指導要録といった法定帳簿、その他では、毎年子ども達の名簿を作ったりしてデータを蓄積していくわけですが、それらについてもシステムを使っていくこととなります。1年目の場合、全てを入力しなければならないので大変かと思うのですが、来年度は更新されていくので、これから使い勝手が發揮されてくるのではないかと考えています。</p>
藤本委員	<p>P T Aの会議とかで6時過ぎに学校に伺っても、先生方がたくさん残っていらっしゃるのでも、大変だと拝見してましたし、クラスの子ども達に毎週、出来事や持ち物を書いた丁寧なお知らせを下さるのですが、子どもの小学校の校長先生からは、学年が上がってきたらそういうのを止めて、子ども自身に連絡帳に持ち物や時間割を書かせることで、先生達の負担軽減にもなるし、子ども達も話をきちんと聞いて書かないと、忘れ物して困るとか宿題漏れになるとか、そういう事にも繋がって良かったなと思う事があったので、そういうことも入っているのか聞いてみたところでした。</p>
津谷市長	<p>他に何かありませんか。</p>
永井委員	<p>学校教育課3番の新学習指導要領の移行期間の対応ですけれども、力を傾入することは当然必要なのですが、全国的な調査などによっても現場の職員がすごい負担感を持っている。本市としては、できるだけ負担感を共通理解とか各学校の情報を掌握して、負担感を軽減するという観点で進めてもらえればと思います。それからALTを7名に増員したので、ALTの活用が今後の課題に</p>

永井委員	<p>なると思います。ある新聞の記事などを見ましたら、日本語をよく理解していない現状はおかしいのではないかという意見もある。ある程度日本語を習得している状態で授業に入るとというのが本来の外国語教育ではないかと。我々はネイティブな発音は不可能。それより英語を手段としてコミュニケーション能力を高める事が外国語教育の狙いなのだという意見もあるので、学校教育課として現場の人達には、負担感を持っていただけども、そうではないのだなという指導例などを次々と展開してもらいたいと思っています。</p>
小林学校教育課長	<p>永井委員のお話しの負担感というのは外国語活動に特化したものと思います。まずALTの活用については、これから広がっていきます。4月の段階で既に3・4年生でもALTが入った授業は始まっています。まだ実際の授業については詳しく聞く機会はありませんが、当市には幸いなことにショーンがおります。ショーンのALTのコーディネーターとしての力も借りながら、他の市よりも進んでできるのではないかなと思っています。ただALTの日本語の指導については、ALTの採用はJETプログラムで進んでいますけれども、その中に日本語を話せるか否かということは条件にありません。たまたま来た方が日本語を大学時代に専攻して話せるということもありますが、それが採用の条件にはならないので、来てもらった時に日本語を覚える努力をしてもらえないのかなと、全国を見ますと業者に委託をするような取り組みでALTを採用するような市もあるやに聞いています。それにはそれでデメリットもあるように聞いていますので、現段階ではJETから離れてというようなことは考えておりません。今いるALTのコーディネーターをうまく活用する事がまずは大事なかなと考えております。</p>
津谷市長	<p>よろしいでしょうか。</p>
藤本委員	<p>娘の中学校での事ですが、ALTの先生とランチを一緒にするという企画があつて申し込んだところ、人気があつて1回では収まらなくて2回に分けてやることになったということで、教室ではない少しリラックスした形で接することができる機会が与えられていていいなと感じていたところです。</p>
津谷市長	<p>今課長が言ったように、うちの市にはショーンというコーディネーターがいるということは強みですね。日本語が話せなくても、秋田弁まで教えてくれるかもしれない、そういう意味ではうまくいくのではないのかと思いますのでよろしくお願ひしたい。</p>
佐藤教育長	<p>ショーンの存在は他の市町村から羨ましがられますね。</p>

小林学校教育課長	森吉中のイングリッシュランチは今年から始まっているので、それが全体的に良いのであれば他に紹介しながら、他の学校でも広がっていけばいいなと思っています。
津谷市長	それでは、他によろしいでしょうか。
佐藤委員	校務支援システムで、今までトラブルはなかったでしょうか。
小林学校教育課長	トラブルまでは分かりませんが、4月の段階で、これまで学校で経験則の中で、例えば生徒名簿を作るといった際に、それぞれの学校が様々なソフトを使って作ってきた経緯があります。それを校務支援システムで作るとなった時に、先生達にまだ全体像が見えていなかったのが今年4月は時間がかかったかもしれません。ただこの後、様々なデータが校務支援システムの中に入っているので、それがデータとしてあることが、生徒名簿の作成、学籍の管理、成績の管理など、いろんなところに波及していくことが先生達に浸透していけば手間は減ると思います。おっしゃるとおり4月段階では様々な混乱があったのは事実です。
佐藤委員	それは法定帳簿としてシステムの中で保存するのですか。今までは書いたものが金庫の中にしまわれていましたが、今はどうなっているのですか。
小林学校教育課長	例えば生徒指導要録については、様式1は20年間保存、様式2は5年保存となります。様式1については、3月に校長の私印と担任の印が必要になりますので、紙で出力して重ねていくような形を取っていきます。様式2については、1年生の段階で一度プリントアウトします。2年生では、それを付加したものをプリントアウトして紙でも残していくということになります。ただ、前の年のものについては管理者権限がないと変えることができないシステムになっているので、翌年になって改ざんはできません。そこは校長・教頭・教諭の立場でできることが違っていますので、そういう風な形で考えています。
佐藤委員	トラブルが起きた時に、すぐ動くのは会社ですか。それとも教育委員会ですか。
小林学校教育課長	基本的には会社に電話するように言っているのですが、委員会にも毎日のように電話がかかってきます。
小林委員	システムは会社によっても違うのですか。各市町村で全然違うシステムで構築した場合、他の市町村から転入してきた先生が戸惑うとか業務に支障が出るとかはないですか。

小林学校教育課長	<p>それは分かりませんが、私が昨年いた秋田市のシステムと北秋田市のシステムは会社と同じで、ほぼ画面も同じです。先日別の市町村も、先に導入した北秋田市の状況を教えて欲しいということで来ておりました。その市町村がどの会社を選ぶかはわかりませんが、先行している状況ですので、良いということになれば他の市町村もそれを参考にしながら導入していくのではないかと考えています。</p>
津谷市長	<p>それでは、様々な意見やご提言がございましたので、十分に参考にしながら汎用していただきますようによろしくお願ひします。</p> <p>次に生涯学習課長お願ひします。</p>
長岐生涯学習課長	<p>資料に沿って説明させていただきます。</p> <p>1. 生涯学習事業の推進について。公民館講座ですが、コムコムと地区公民館10館で31の講座を開講し学びの場を提供しております。高齢者大学は、4大学で435名が学んでおります。自主講座の支援は、なかなか自主講座への移行は進んでおりませんが、発表の場を設けたり、自主グループで活動しているサークルを冊子で紹介するなどし支援しています。</p> <p>2. 次代を担う子どもの未来につながる事業について。地域学校協働本部は、中学校区に1つ設けてあり5本部あります。今年度も2回の連絡協議会の外に各本部ごとの会を計画しています。家庭教育支援チーム推進事業は、8名のチーム員が全市対象の事業を2回のほかに学校単位での事業を行う予定です。放課後子ども教室は、10教室で40回の教室を開催する予定です。放課後児童クラブは、10クラブ595名でスタートしています。子育て世代支援は、コムコムのねまーひろばで5人の支援員で運営しています。</p> <p>3. 北秋田市民ふれあいプラザについて。3月28日で来館者50万人を突破しています。設立当初の目的として、交流賑わいの拠点となることはもちろんですが、駅からコムコムのまでの商店街の流動人口による賑わいも目的としていますので、商店街への波及という部分で課題が残っています。そこを検討するために仮称ですが「にぎわいづくり委員会」を設置する予定にしています。その中に高校生の意見を取り入れたいということで、北鷹高校の他、能代市や大館市に通学している高校生も入ってもらえば良いのかなと検討しています。</p> <p>4. 縄文遺跡群世界遺産登録（17遺跡）の推進について。世界遺産登録へ総決起大会の実施及び要望書の提出としておりますが、すでに4月23日東京で世界遺産登録推進総決起大会が開かれております。要望書の提出につきましては、各都道府県で行うように実行委員会から言われておりますが、4月の段階で4県合同で要請しています。</p> <p>5. 伊勢堂岱遺跡ジュニアボランティアガイド養成事業について。4月に募集しており、5月30日現在で37名の登録があります。総会は5月6日に開</p>

長岐生涯学習課長	<p>催しております。5月の連休中は、昨年度経験のある子どもたちにガイドをしてもらい、7日間で707名の来場がありました。事前研修会は7月27日～31日まで。それを受けて8月4日～8月19日の夏休み中にガイドを実施してもらおう運びとなっています。</p> <p>6. 縄文シティサミット in きたあきたについて。会場は当市になっており、開催日は9月8日・9日です。前段階として本日から明日にかけて幹事会が開催されることになっています。以上です。</p>
津谷市長	<p>ただ今説明のありました生涯学習課について、ご意見、ご質問をいただきたいと思います。</p>
藤本委員	<p>放課後子ども教室は、いきいきタイムと同じですか。</p>
長岐生涯学習課長	<p>同じです。</p>
藤本委員	<p>子どもの運動会の振替や開校記念日に合わせて、畑に苗植えとか自然にふれ合える行事をやっていただいて大変喜んでます。</p>
佐藤委員	<p>先日、コムコムに夜行ったところ驚いたのは、一般の人は少なかったのですが、高校生の利用が多いなと感じました。少し心配したのは、職員が退庁した後、そこを管理される方々がいるけれども、子ども達や家族が安心して利用できる環境ができていくかどうか。家族が子どもを迎えに行っても、安心して利用できる場、いいなと思わせる場であって欲しい。ただ事務室に座っているだけでなく、時々子ども達が学習している状況、あるいは何かを見ながら回ればいいなと感じました。</p>
長岐生涯学習課長	<p>自由来館という良い面と、安全安心という面が相反する部分もあるかもしれませんが。守衛さんは時々回ってはいるようですが、貸館で利用する人が来たり申込みに来たりするため、ある程度の時間で巡回してもらいたいと思います。</p>
津谷市長	<p>私も常々夜に来て思っていることは、守衛さんは守衛だけの仕事で、子ども達がたくさんいるし、一般の人達が研修室を使って夜お酒が入る会をしている時もあるので、その対応をどうしていくか。皆さん大変きれいに使ってくれてはいるけれども、慣れてくると、中には自分達でやらなければならない片付けをやらないのではないかという心配も出てくる。次に使う人のためにならないし、ご心配の向きがあるように、勉強している子ども達の安心安全の面から見ると、本当は巡回をできる人がいてくれればいいのかと思っています。これは我々の予算も考えていかなければならないけれども、せっかくの良い施設だし</p>

津谷市長	これからも研究していかなければならないと思います。
長岐生涯学習課長	分かりました。
永井委員	アルコールが入ったときはシルバーの方に後片付けを、というのを半強制的に指示していませんか。
長岐生涯学習課長	強制的には指示していませんが、アルコールが入ると片付けしたくなくなる状態になってしまいますので、ほとんどの方はシルバーの方をお願いしていると思います。二人で5千円位の経費で済みますので。
永井委員	できるだけ使うように指導した方が良いと思うんです。アルコールが入るとどうしても十分には後片付けできませんので。
長岐生涯学習課長	はい。分かりました。
佐藤教育長	今の佐藤委員からのお話しの中で、職員を増やして見回りをさせることもひとつの方法だと思うのですが、普段入ってくる一般の市民の方と、子ども達との接点の場だと思うので、高校生に声をかけ合うなどすれば良い形で運営していけるのではないかなど。警備員を入れたり、いろいろな取組をしているところもあると思いますが、市民が見ていて温かい雰囲気で作っていけるようなことを考えていければ、これは理想論ですけれども。基本的にはうちの生涯学習課は17時15分で帰るわけではなくて遅くまでいるので、職員に委ねているようで心苦しいのですが両方の面から考えていければと思います。生涯学習課の職務も求められているものも増えていて、学校の先生達だけではないなと感じてますが、生涯学習課は良くがんばっていますね。
永井委員	右に同じ。
藤本委員	これまで子どもさんの送迎とかで駅で待たせていたお母さん達は、雨が降っていても、冬でもここで待たせていれば安心だということで喜んでいきます。迎えに来ている保護者の方も、ただ駐車場で待っているだけではなくて、ちょっと入ってきてみるのも良いかなと思います。
津谷市長	ほんとですね。
佐藤委員	ひとついいですか。伊勢堂岱遺跡のジュニアボランティアガイドの件ですが、見学に来られる人はお金を払って利用するのですか。

長岐生涯学習課長	縄文館に入館する方には200円の観覧料をいただいています。
佐藤委員	遺跡の方はボランティアが付いて説明を受けるのは、全部をひっくるめての金額ですか。
長岐生涯学習課長	いいえ、入館だけが200円で、遺跡自体を見学するとすればボランティアが付いても無料です。
佐藤委員	ちょっと心配したのは、ボランティアの子ども達の負担はどのようなものでしょうか。
長岐生涯学習課長	学校に募集して、自主的に挑戦したいという子が来ていますので、負担は感じられなくて、事務室でも勉強しながら情報交換したり仲良くしています。2人でペアで行ったり、1人の子もいますが、その子に合ったガイドの仕方をしてもらっているので、特段負担感という感じではないです。
永井委員	ただ、保護者はかなりの負担感をもって対応しているのは間違いないです。子ども達は非常に充実した活動をしています。送迎ですね。何時に迎えに来いという指示に保護者が対応している点で、この期間は大変だろうと思います。保護者に対して心遣いをしてもらえればと思います。
佐藤教育長	実は、今年4月26日からジュニアボランティアガイドをスタートさせてましたが、少し心配で行ってみました。心配というのは、昨年熊のために現地のガイドは1回もやっていなくて、昨年の子ども達は館の中しか経験がなかったので、できるかなと思って見に行ったのですが、2年目の小学生が2人、鎌倉から来た4人の方にガイドしていました。鷹巣東小学校6年生の男の子と女の子でしたが、やりとりを側で見ていてすごくいい感じだなあと感じて見していました。少なくとも連休中に私が見ていた子ども達は、負担感というより意気を感じてやっていたように思います。永井委員のお話になっていたことも感じるのですが、一般のボランティアの方々ですが、随分高齢化しているんです。一般の20代から40代の方がいない。ジュニアボランティアを募集する時から保護者にもガイドになってほしいとお願いしました。送り迎えする保護者もガイドになれば負担感はなくなるのかなと。もし世界遺産登録推薦になれば、一気に人気が高まって見に来た時に、ガイドとして対応出来る人を市の中でも育成していかなければいけないので、生涯学習課長、次の世代をどうやって増やしていくかを検討してください。
長岐生涯学習課長	はい。分かりました。

津谷市長	<p>他によろしいですか。</p> <p>それでは生涯学習課は終わりました、次スポーツ振興課の方に移ります。</p>
藤野スポーツ振興課長	<p>スポーツ振興課主な施策は6点です。</p> <p>1. チャレンジデー2018について。目標参加率60%、4年連続の金メダル獲得を目指すということでしたが、結果として63%、3%の増、587人の増加で金メダルを獲得しています。勝敗は、相手が71.7%であったことから負けておりますけれども、本市としては精一杯がんばって63%。来年はまた更なる上を目指した取り組みができると感じております。当日、急遽長縄跳びのイベントを開催しましたが、参加者は少なかったのですが、会場は熱気に溢れて一体感が生まれたと感じています。</p> <p>2. 100キロチャレンジマラソンについて。先般の大雨で道路が寸断されましたが、復旧のめどが立ち再募集されています。昨年度と同じように後方支援、情報提供、情報収集、ランナー目線の画像の配信などPR活動に努めたいと思います。</p> <p>3. スポーツ・文化合宿誘致について。なかなか拡大、拡散しておりませんが、現時点では昨年と同じく立正大学からの申請があり決定しています。今後また、PRに努めていきます。</p> <p>4. スキー場ゲレンデ整備用圧雪車購入について。昭和62年購入から30年を経過し、都度の故障、部品の供給の停止により修理も掛かり増しになっておりましたが、ようやく予算要求したものが実現して契約も終わり、11月末を目途に納入の予定です。</p> <p>5. 北健康増進センター下水道接続工事について。懸案事項となっていたトイレの水洗化ですが、施設利用者の公衆衛生における安全性、地域周辺の環境保全の向上を図るための整備を行うことで、利用者増を見込めるのではないかと考えています。</p> <p>6. 市民プール大断面集成材維持工事について。建設から10年を経過し、温水施設特有の湿気の浸透があり腐食が目立ってきています。梁塗装、パネルヒーター腐食の改修、トレーニング機器の更新で充実を図って、きめ細やかな維持補修を行い施設の長寿命化を図ります。以上です。</p>
津谷市長	<p>スポーツ振興課にご意見、ご質問をいただきます。</p>
佐藤委員	<p>まず、100キロチャレンジマラソンは実施の方向で進められているのは大変良かったと感じています。もし、あそこで中止ということになってしまいますと、楽しみにしている地域の人達はがっかりするだろうと、昨年の状況を見てそう感じておりました。と言うのは、沿線にある住民だけでなく、私が住んでいる地域からも車でわざわざ連れて来てもらって応援しているんですね。ああいう風景を見るととても良いと思います。また、大会前に老人クラ</p>



佐藤委員	<p>ブの人方々が沿線のゴミ拾いをして、きれいにしておいて迎えている、そういう姿勢もとても大事だなと思いました。比立内からずっと沿線に応援隊がいるということは、この地域にとって楽しみにしている大きなイベントだと思っていたので、永く続けて欲しいし、たくさんの人に参加してほしいと感じていたところでした。ありがたいなと思いました。二つ目は、スポーツ・文化合宿の誘致ですが、とても良いアイデアだと思いますが合宿させる施設がどうかなど。例えば本県、北秋田市の場合は雪が宝ですが、鹿角でインターハイ、インカレが行われる時に、鹿角に近い所で合宿するということはとても強みになる。ただそうなった場合に合宿できる環境が整備されているか。森吉スキー場を見たときに、近くにセンターがあったが今は利用できない状況にあるが、ああいう建物があれば環境的にはすごい。できれば宿泊できる施設を準備するなど環境を整えてから誘致に動かないと手落ちではないかなと、そういうことを感じました。</p>
津谷市長	<p>私から答弁するのもおかしいのですが、100キロチャレンジマラソンの市道に関して崩落したところですが、建設部からも説明を受けて、これはすぐやれと。というのは査定を待っていますと決まるまで1ヶ月、それから手を掛けると間に合わなくなってしまいます。手を掛けていって最悪片側通行でも、とにかくやるという方向で。さっきお話があったように、あの100キロマラソンというのは全国から来て、地域の人たちがずっと沿道に並んで声援するという、本当に宝だと思っていますので、市道の方はすぐに手を掛けることにしました。スポーツ合宿については、できればスキー場があるし、昔阿仁町時代にできたセンターもあってうまく使えばいいんでしょうけれども、ずっと手付かずに老朽化してしまっている。今、スポーツ合宿は立正大学の剣道部で、北秋田市出身の監督が何年も部員を連れて来ている。ただ、合宿施設が無いので民間の宿泊施設を使っているため経費がかかるので、いくらかスポーツ合宿への経費の一部を補助させていただいている。立正大学だけではなくて、(補助の)上限を決めながらやっていけば合宿地になるのではないかと。北秋田で問題なのは、沢山の人に来て合宿してもらうときに、受け皿がないことが非常に弱いところ。運動合宿をどうしていくか、問題があることは認識しています。スポーツ振興課長補足があったらお願いします。</p>
藤野スポーツ振興課長	<p>問い合わせはありますが、実状をお話すると、以前のように大広間で雑魚寝という時代ではなくなっておまして個室が前提なのだそうです。チームで来る場合、分散して宿泊するのは避けたいという事で、宿泊施設に問合せしても既に予約の分もあって断られるのが現状です。</p>
藤本委員	<p>東北高校の野球部さんはどうですか。</p>

津谷市長	合川の駅前の旅館です。
藤野スポーツ振興課長	大学からの問合せだけはきています。ただ宿泊の人数と期間で都合が合わないため断念せざるを得ない状況です。市内の宿泊施設等と折り合いがつかような団体であれば支援していきたいとは思っています。
津谷市長	先程、佐藤委員から出たように阿仁のセンターがまだ使える時に見たことがあるけれども、立派な建物だったけれども今は使えない状況なので、スキー場もあるし冬場だけでなく夏も使えるようになれば良いけれども、なかなか…。課長が言ったように合宿するにも難しくなってきた。
佐藤委員	例えば阿仁だと、体育館を使わなくても良い部であれば、山道を走ったり、あまり暑くもないので良い環境。ペンションとの協力はどうか。
藤野スポーツ振興課長	問合せのある大学の話になりますが、合致すれば民宿とかでも知っている範囲で紹介しながら進めて行きたいと思っていますが、なかなか折り合いがつかないというのが現状です。
津谷市長	何年か前に、秋田商業の水泳部が市のプールを利用して1週間ぐらい合宿したことがあったけれども、やはり規模によるのかもしれない。宿泊料金も民間だとなかなか低く押さえられないだろうし難しいところです。だから補助ということで、大規模な人数は無理でも、ある程度の人数であれば民間の所でも協力してもらえればなど。これもまた大きな宿題です。 スポーツ振興課関係で他にありませんか。
藤本委員	チャレンジデーのことですが、二ツ井に勤めていて帰りにいとくの出口で職員の方に聞かれましたけれども、北秋田市もお買い物帰りの方にお声がけされていたのですか。
藤野スポーツ振興課長	はい。各施設時間を割り振りしながら2名体制で買い物ウォーキングということで行っていました。
藤本委員	北秋田市でもやられていたんですね。 もう一つ、連絡したいと思った時に、メールアドレスを選択してそのまま繋がるようになっていなくて、他の市と比べると思ったより利用しづらかったので、すぐ報告できるようにQRコードを配るとか工夫があってもよかったですかなと思います。
藤野スポーツ振興課長	そちらも把握しております。尚且つ、朝から晩までFAXが動きっぱなしで、電話も取れない状況がずっと続いていまして、なかなか繋がらないため報

藤野スポーツ振興課長	<p>告を断念したという話も聞いております。報告用の簡易的な受付ボックスなどが必要かなと感じています。来年に向けた課題で、これから検証していくことになります。</p>
津谷市長	<p>実行委員会で課題を洗い出して来年に向けてください。よろしく申し上げます。他にございますか。なければスポーツ振興課の方は、皆さんからいただいたご意見等を参考にしながら施策を進めていただきたいと思います。</p> <p>続きまして案件の3番意見交換ですけれども、特にテーマは限定しないで委員方から日頃感じていることとか、北秋田の教育についてご意見などがあればお願いします。</p>
永井委員	<p>5月29日に北秋田市奨学金の貸与について会議がありましたけれども、その時に基金の残金が年々減少してきていると。これに対して市民にPRして、今貸与から給付という形に広まってきていますので、市としても積極的に基金を増やすような活動をしていかなければならないなど。私も何らかの形で動かなければならないと肝に銘じた会でした。</p>
金澤総務課長	<p>貸与の方が返還される額より上まっております、毎年基金の残金が減っているという状況です。今年度は2人ですが、5人以上が来年再来年と申請された場合には財源が厳しくなってくる現状ですので、永井委員がおっしゃられた対応が必要なのかと思っております。</p>
津谷市長	<p>これに関しては真剣に考えていかなければなりませんね。</p> <p>他にございますか。それでは他にないようですので意見交換の方はこれまでとさせていただきます。貴重なご意見、ご提言いただきましたことに心から感謝申し上げます。無事に案件は終了いたしましたので、議事進行を終えさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
小笠原教育次長	<p>市長、進行ありがとうございました。</p> <p>それでは次第5番のその他に入らせていただきます。</p> <p>事務局の方からですが、前回の総合教育会議の中で、市の職員の全国大会出場者の名簿がほしいという話があったようですが、個人情報ではございますが資料をお配りしますのでご確認ください。</p>
藤野スポーツ振興課長	<p>昨年の段階で調べ上げてはいたようですが、先週改めて加除したもので、現在24名です。個人的にも調べておりましたけれども、現在競技を離れていることで現役でない方もかなりおります。今後、どういう活用をしていくかは協議しているところです。</p>

佐藤委員	<p>ありがとうございました。こういう宝の人材がいるので、できれば出やすいとか、指導者として頼みやすい市の体制を考えてもらいたいと思います。そして子ども達にいろいろな面で指導していただいて、大きな夢を持って欲しいと思って提案させていただきました。</p>
小林委員	<p>これは技術的な事だけではなくて、メンタルな部分でも教えることはできると思います。</p>
佐藤委員	<p>最後にいいですか。私が勤めているリフレッシュ学園のことでありますが、ずっと学校に行けなくて、今技術の時間になるとパソコンでいろいろ勉強する学習があるんですが、学園にはパソコンがないので、職員が仕事で使っているのを持って行ってやらせています。できたら環境をつくって欲しいものだと思います。あと光が来ていないので職員が大変困っています。とても遅くて動かない。できればそういう方向で進めてもらえばありがたいと思って話させていただきました。</p>
小笠原教育次長	<p>後で検討させていただきます。 その他、何かございますか。無いようですので、以上をもちまして平成30年度第1回北秋田市総合教育会議を閉会いたします。お疲れさまでした。</p>

(午後2時35分 閉会)